

【結果速報】フォートラベル「2011-2012 年末年始の旅行動向調査」

- ◇ 傾向は昨年並み。ファミリーは積極的に外出する傾向に。小学生連れは海外・国内旅行で5割を越す。
- ◇ 旅行開始日は、国内は集中、海外は分散化。3連休も視野に入れて計画する傾向に。
- ◇ 旅の手配、Web 経由が堅調。宿泊は予約サイト経由、交通機関は直販が進む。
- ◇ 旅を決めるポイントは、「目的重視」が海外旅行・国内旅行ともにトップに。

フォートラベル株式会社(本社:東京都新宿区 代表取締役社長 井上英樹、以下:フォートラベル)は、運営する「旅行のクチコミサイト フォートラベル」にて、会員を対象に「2011-2012 年末年始の旅行動向調査」を実施いたしました。調査結果を以下にご報告いたします。

【1】 調査結果概要(基本データのご報告)

【2】 調査結果解説/執筆:弊社アドバイザー、旅行ジャーナリスト 村田和子

1. 傾向は昨年並み。ファミリーは積極的に外出する傾向に。小学生連れは海外・国内旅行で5割を越す。
2. 旅行開始日は、国内は集中、海外は分散化。3連休も視野に入れて計画する傾向に。
3. 旅の手配、Web 経由が堅調。宿泊は予約サイト経由、交通機関は直販が進む。
4. 旅を決めるポイントは、「目的重視」が海外旅行・国内旅行ともにトップに。

【3】 調査実施概要(回答者プロフィール等)

【4】 フォートラベル株式会社について

【5】 データ利用について

【1】 調査結果概要(基本データのご報告)

➤ 【年末年始の休暇取得状況概要】

休暇日数の平均は 6.8 日で、昨年調査と比較して 0.1 日増加した(昨年:6.7 日)。昨年同様、年末年始の曜日の並びが悪く、休暇日数は昨年とほぼ変わらない結果となった。

➤ 【年末年始の過ごし方概要】

年末年始の過ごし方は「自宅中心で過ごした」人が最も多く 41.8%、続いて「海外旅行」(20.2%)、「国内旅行」(15.0%)、「帰省」(14.1%)、「その他」(4.7%)、「日帰り旅行」(4.2%)の順となった。昨年調査と比較すると「自宅中心で過ごした」人が 2.2 ポイント減少し、「国内旅行」が 2.3 ポイント増加、「海外旅行」も僅かではあるが増加しており、昨年より旅行意欲は高い傾向にあった。

➤ 【旅行費用概要】

旅行費用の平均は「海外旅行」が 18.6 万円、「国内旅行」が 4.7 万円となり、昨年と比較して「海外旅行」は増加、「国内旅行」は減少した。1 日あたりの単価を見ると「海外旅行」、「国内旅行」ともに昨年より 0.3 万円減少という結果となった。

➤ 【海外旅行概要】

「海外旅行」の平均日数は 7.3 日と、昨年と比較して 1.0 日増加した。行き先は「アジア」、「ヨーロッパ」、「北米」の順に多く、国別では「韓国」、「香港」、「台湾」、「米国(ハワイ)」へ訪れた人が多い。

➤ 【国内旅行概要】

「国内旅行」の平均日数は、3.7 日と、昨年と比較して 0.4 日増加した。行き先は、「北海道」、「沖縄県」、「長野県」の順となった。「北海道」、「長野県」へ訪れた人の具体的な過ごし方をみると、「温泉」や「スキー」というコメントが多かった。

■旅行動向と休暇の概要 (n=937)

		2011-2012 年未年始(昨年対比)	参考:2010-2011 年未年始
連続休暇日数の平均	全体	6.8日(+0.1)	6.7日
	海外旅行	8.9日(+0.2)	8.7日
	国内旅行	6.9日(±0)	6.9日
	帰省	6.2日(±0)	6.2日
	日帰り旅行	6.2日(+0.6)	5.6日
	自宅中心	5.9日(±0)	5.9日
過ごし方	海外旅行	20.2%(+0.5)	19.7%
	国内旅行	15.0%(+2.3)	12.7%
	帰省	14.1%(+0.1)	14.0%
	日帰り旅行	4.2%(▼0.6)	4.8%
	自宅中心	41.8%(▼2.2)	44.0%
	その他	4.7%(▼0.1)	4.8%
旅行費用の平均	海外旅行	18.6万円(+0.9)	17.7万円
		1日当たり旅行費用:2.5万円(▼0.3)	1日当たり旅行費用:2.8万円
	国内旅行	4.7万円(▼0.6)	5.3万円
		1日当たり旅行費用:1.3万円(▼0.3)	1日当たり旅行費用:1.6万円
旅行日数の平均	海外旅行	7.3日(+1.0)	6.3日
	国内旅行	3.7日(+0.4)	3.3日

■行き先ランキング(海外)

2011-2012 年未年始	
1位	アジア
2位	ヨーロッパ
3位	北米
4位	オセアニア・ミクロネシア
5位	中南米

■行き先ランキング(国内)

2011-2012 年未年始	
1位	北海道
2位	沖縄県
	長野県
4位	静岡県
5位	大阪府

【2】 調査結果解説

執筆: 弊社アドバイザー 旅行ジャーナリスト 村田和子

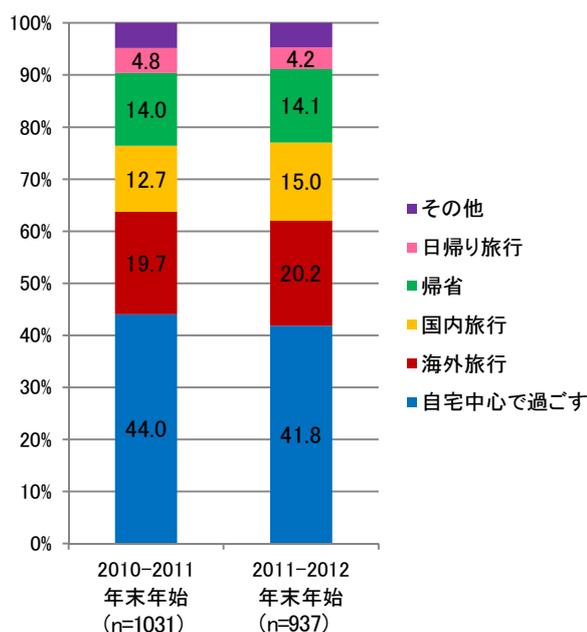
1) 傾向は昨年並み。ファミリーは積極的に外出する傾向に。小学生連れは海外・国内旅行で5割を超す。

昨年同様、年始が週末にあたる暦の為、企業の休暇日数は少なめであった。また年末年始の過ごし方は、昨年と比較し「自宅中心で過ごす」が2.2ポイント減、「国内旅行」が2.3ポイント増、「海外旅行」が微増という結果で、ほぼ昨年並みだった。震災の影響が懸念されたが、昨年と比較し特に目立った変化は見られなかった。

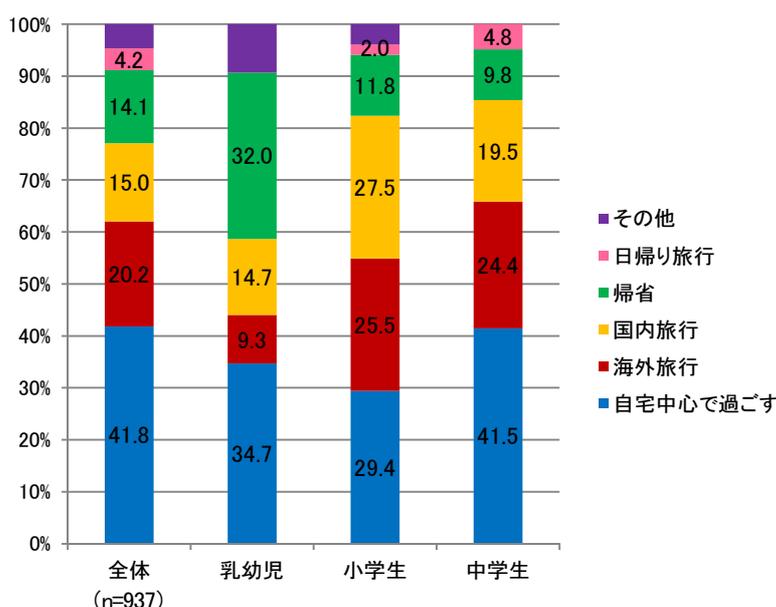
注目すべきは、ファミリーが積極的に外出する傾向にあったことである。ただし子どもの年齢によって旅のスタイルは大きく異なり、乳幼児がいる家庭は「海外旅行」が9.3%と全体比率の半数以下にとどまり、その代り「帰省」が倍以上(32.0%)という特徴ある結果となっている。一方、小学生・中学生がいる家庭では「海外旅行」、「国内旅行」を実施した人が全体比率より多く、特に小学生がいる家庭では、「海外旅行(25.5%)」と「国内旅行(27.5%)」をあわせると53.0%となり、5割以上が旅行に行ったという結果が得られた。

学校があり長期休暇でない「小・中学生」と、「乳幼児」のいる家庭では、旅のスタイルに違いはあるものの、共通して積極的に外へ出る傾向がみられる。震災以降「絆」が一つの象徴になっているが、その影響も踏まえ、今後も注目したいところだ。

年末年始の過ごし方(全体)



2011-2012年末年始の過ごし方
(中学生以下の子どもがいる人)

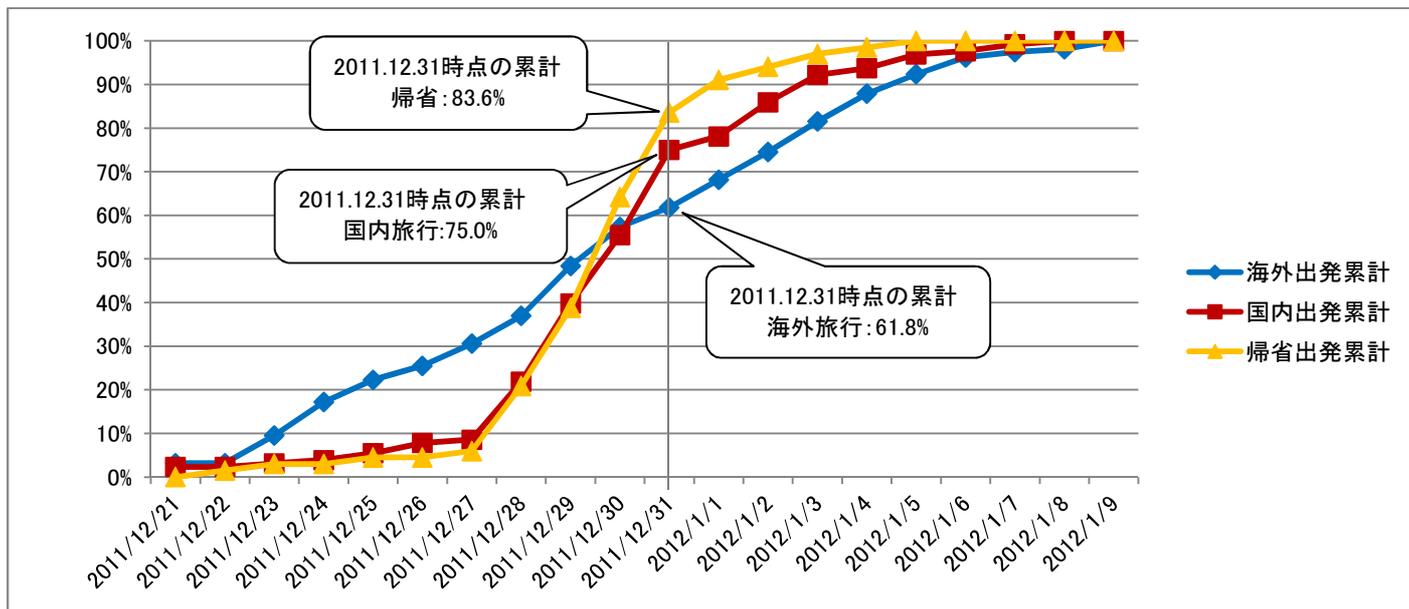


2) 旅行開始日は、国内は集中、海外は分散化。3連休も視野に入れて計画する傾向に。

旅行の開始日を見ると、「国内旅行」、「帰省」については、多くの企業が休暇に入る12月28日頃から急増。年末時点の出発者の累計は、「国内旅行」で75.0%、「帰省」で83.6%となった。

他方、「海外旅行」の実施は分散傾向であり、12月22日から1月6日頃まで毎日一定の人数が出発しているのがグラフから読み取れる。年末時点の出発者の累計は61.8%にとどまり、残り約4割の人は、年が明けてから出発していることがわかった。年末年始休暇の前後に2つの3連休(12/23-25、1/7-9)があり、これを踏まえて海外旅行を計画した人も多かったと考えられる。

2011-2012 年末年始 出発者累計割合 (n=373)



3) 旅の手配、Web 経由が堅調。宿泊は予約サイト経由、交通機関は直販が進む。

宿泊・交通機関とも、引き続き Web 経由での予約が堅調。特に海外旅行では、宿泊・交通、いずれも Web 経由の申し込みが 8 割以上となっている。

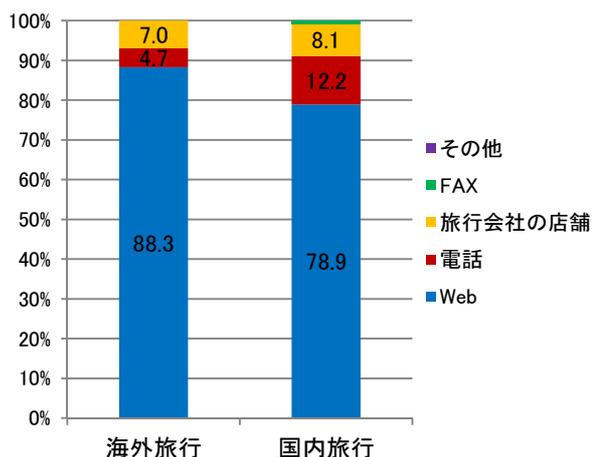
具体的に利用しているサイトを見ると、宿泊については「宿泊予約サイト」が圧倒的に多く、海外旅行では「エクスぺディア」、「agoda」、「楽天トラベル」、国内旅行では「じゃらん」、「楽天トラベル」、「一休.com」などが多かった。また航空会社のサイトで宿泊を予約したという回答も散見され、ダイナミックパッケージなどを利用して手配している人も多いようだ。

海外旅行の交通機関(飛行機)の手配は、Web 経由が 8 割を超え、その半数以上が各航空会社のサイトから直接予約という結果となった。オンラインで簡単に手数料なしで正規割引航空券の購入ができること、マイレージを利用する人が多いなども影響したと考えられる。

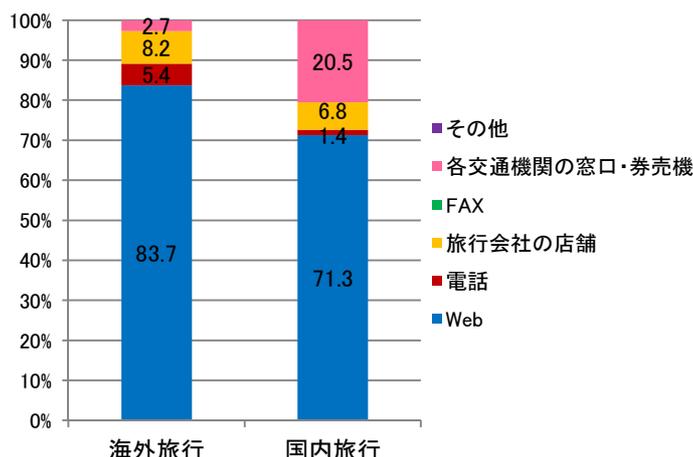
国内旅行の交通機関は、Web 経由の手配は 71.3%にとどまるが、そのほとんどが各交通機関のサイト(JR東日本えきねっと、航空会社のサイト等)での予約であり、「各交通機関の窓口・券売機(20.5%)」を加えると、全体の 9 割ほどが各交通機関から直接購入しているようだ。

年末年始は比較的ゆっくり過ごす傾向があり、ツアー利用は他シーズンよりも例年少ない。今回もその傾向は継続し「旅行会社の店舗」経由での手配は、いずれも 1 割未満となった。

2011-2012 年末年始
海外・国内旅行の宿泊 手配窓口 (n=294)



2011-2012 年末年始
海外・国内旅行の交通機関 手配窓口 (n=257)

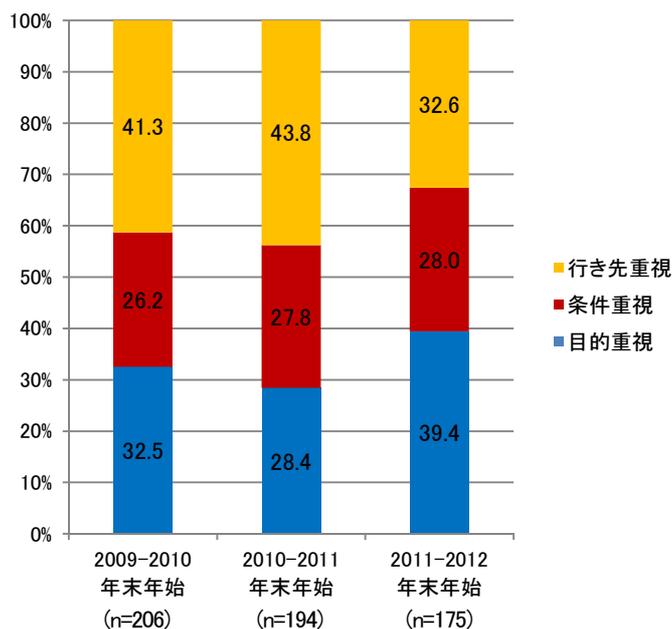


4) 旅を決める重要ポイントは、「目的重視」が海外旅行・国内旅行ともにトップに。

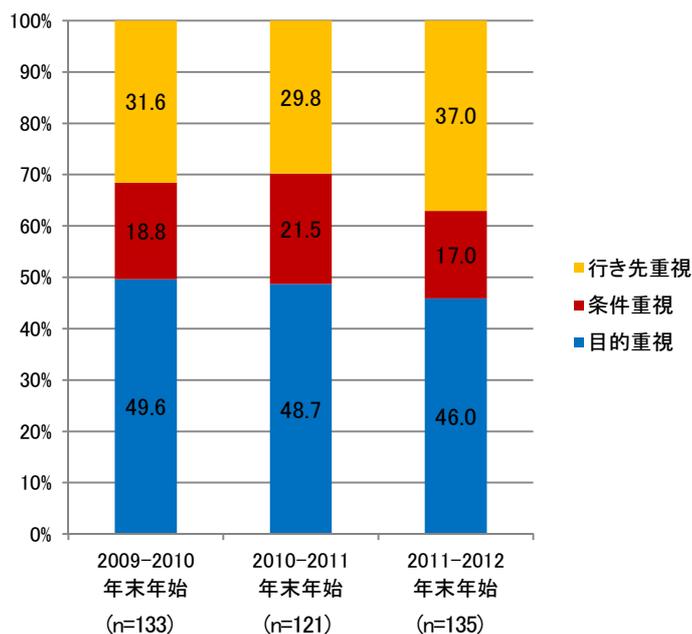
ここ数年の傾向として、「どこへ行くか？(行き先重視)」よりも「何をして過ごすか？(目的重視)」で旅を選択する傾向が強くなってきている。この傾向は国内旅行により強く表れていたが、今回初めて、海外旅行でも「行き先重視」を抑え「目的重視」がトップになった。

また、逆に国内旅行においては、「行き先重視」が、昨年と比較し伸びている。これは東日本大震災や原発等の影響を考慮して旅先を選んだ人も多かったと思われる。今後の推移に注目したい。

海外旅行を計画した際に重視したポイント

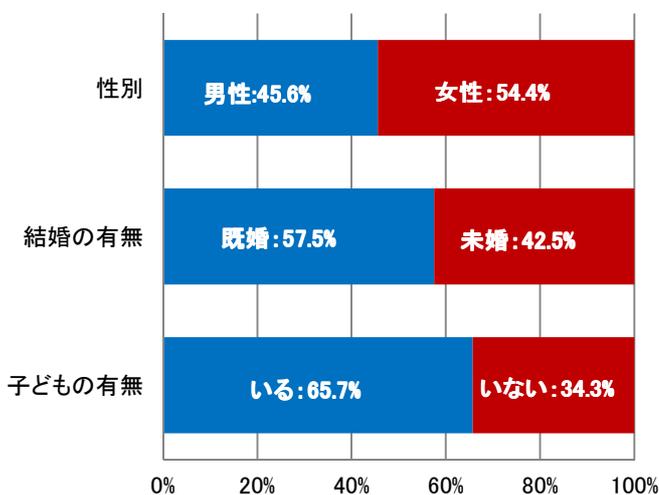


国内旅行を計画した際に重視したポイント

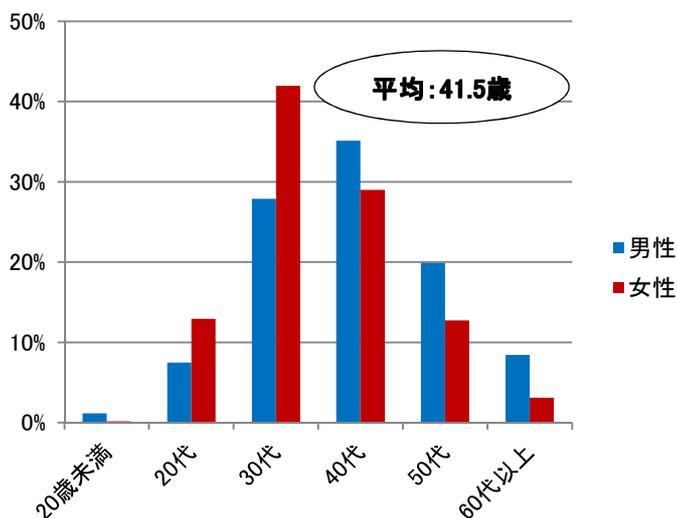


[3] 調査実施概要(回答プロフィール等) (n=937)

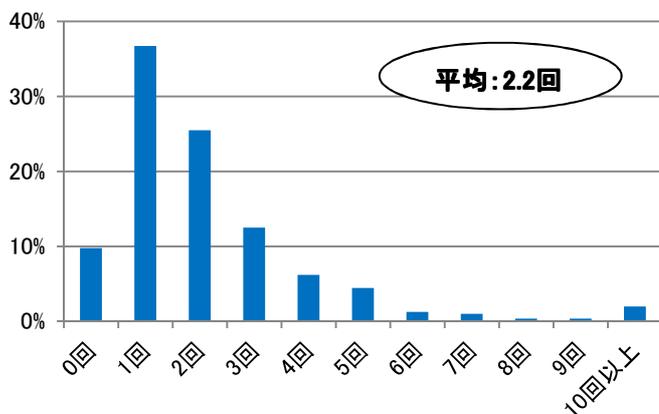
回答者プロフィール



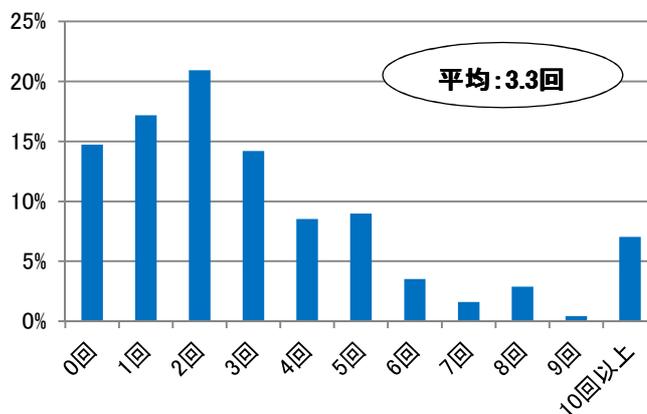
年齢



最近1年間の海外旅行回数



最近1年間の国内旅行回数



<調査目的> 旅行好きのフォートラベルユーザーが2011-2012年の年末年始休暇をどう過ごしたか、旅行消費・動向にどういった影響があるのか、実態を把握する。

<調査期間> 2011年12月27日 - 2012年1月5日の10日間

<調査対象> 有効回答数: 937件

[4] フォートラベル株式会社について

2003年10月設立。2005年1月より株式会社カカコムの子会社。

事業内容: 旅行総合情報サイト『旅行のクチコミサイト フォートラベル』の企画・運営

所在地: 東京都新宿区下宮比町 2-26 KDX 飯田橋ビル 5F

代表取締役社長: 井上 英樹

2004年1月にサイトを開設。ユーザーが実際に体験した国内外の旅行情報のほか、ツアー・ホテル・航空券などの旅行商品を一括で比較・検索できるサービスを提供。

「最適な旅行先を発見できる」、「最適な旅行商品を選べる」、「旅行先で現地情報を探せる」、「旅行の思い出を整理できる」、「他の旅行者と情報交換できる」をコンセプトに、旅行に関する全ての満足を実現するためのサービス提供を目指します。

[5] データの利用について

- 掲載に際しては「旅行のクチコミサイト フォートラベル(<http://4travel.jp/>)調べ」と必ず明記をしてください。
- 掲載前に必要事項をご記載の上、弊社にご連絡をお願いいたします。なお、ご連絡頂く際は、以下について明記をお願いいたします。
 必要事項: 会社名、担当者名、連絡先(メールアドレス、電話番号)、使用用途、発売日/掲載日
- 本レポートは情報提供を目的としています。掲載したデータ及び当該データを加工したグラフ等の正確性・確実性については、その内容を完全に保証するものではありません。また、本調査結果の利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任は負いません。
- 本レポートのご利用にあたっては、以下の事項を禁止いたします。
 - ・本レポートを改竄して使用すること。
 - ・本レポートを第三者に対し有償で提供すること。
 - ・本レポートの複写・複製・転載・抄録要約、磁気媒体・光ディスクへの入力等をフォートラベル株式会社の許諾なく行うこと。

<本件に関するお問い合わせ先>

フォートラベル株式会社 担当: 谷津

mail: press@4travel.jp